

家の お手入れ



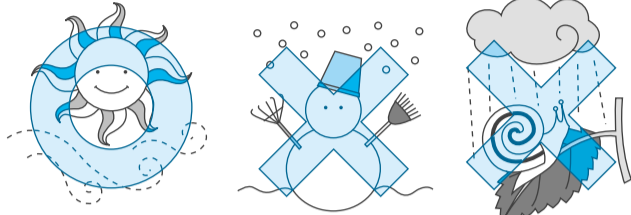
バスルームの塗り替え

湿度が高く、水が直接かかること多いバスルームの壁や天井は、塗料がはがれやすく、カビも発生しやすい場所。塗装面積が少ないので、はがれやシミが気になったら、思い切って自分で塗り替えてみましょう。

塗装を始める前に

●冬季、雨の多い時期はNG

塗料の乾燥は湿度と温度に影響されます。乾燥に時間がかかると作業能率が悪くなるばかりか、塗料の被膜の耐久性も低くなってしまいます。気温の低い冬、また梅雨、秋の長雨の時期は避けたほうが無難です。



●タイムスケジュールを作る

狭い面積とはいえ、乾燥などに時間がかかります。できるだけ、朝早くから初めて、夕方までに片付けが終るように計画しましょう。

●汚れてもよい衣類で

水性塗料が塗りたくない場所についてしまった場合は、すぐに水洗いすれば簡単に落とすことができます。しかし、衣類につくと完全には落ちないので、汚れてもかまわない服装で作業しましょう。髪に塗料がついてもやっかいなので、帽子か三角巾を着用するとよいでしょう。

●換気に注意

窓を開ける、換気扇を回すなどして、換気をよくして作業してください。風通しをよくすると乾燥時間も短くてすみます。

●使用中のハケは水につける

塗装作業を中断する際、使用中のハケをそのままにしておくと固まってしまいます。必ず、水につけておくようにしてください。

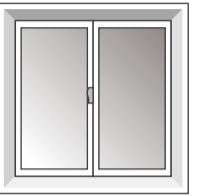


バスルームの 塗り替え

One Point Advice

浴室の壁面をもっと楽しく

きれいに塗り替えた壁面を、さらに楽しく仕上げませんか。塗料は重ね塗りができるので、ベースとなる塗料を塗って、それが完全に乾燥してから、別の色の塗料を塗ることができます。自由に絵を描いても楽しいですし、絵が苦手でもステンシルなどでワンポイントを添えるだけでイメージアップができます。



ステンシル

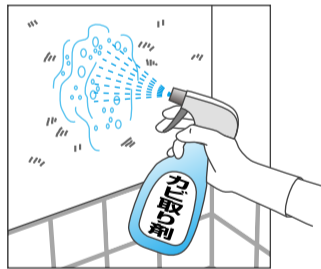


用意するもの

- 浴室用水性塗料
- 壁用パテ（壁の補修、下地処理に用いる）
- ヘラ
- サンドペーパー（180番）
- 下塗り用シーラー
- ビニールシート
- マスキングテープ
- スジカイバケ
- コテバケかローラーバケ+つぎ柄
- 受け皿

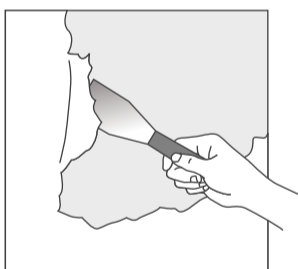
1 カビ、汚れを落とす

浴室用洗剤などを使って、塗り替える壁面をきれいに掃除する。カビがある場合は、カビ取り剤を塗ってそのまましばらく放置して殺菌漂白した後、水洗いして乾燥させるようにする。また、タオル掛けなど、壁についているものではずせるものは取る。



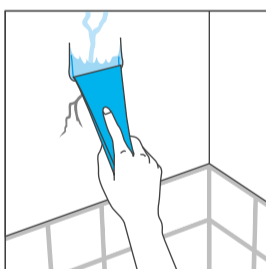
2 はがれかかっている古い塗料をはがす

古い塗料がはがれかかっている壁に凹凸ができている場合は、ヘラで塗料をはがして、できるだけ凹凸をなくす。



3 ヒビ割れ、穴をパテで埋める

ヒビ割れや穴がある場合は、壁用パテで埋め、乾いてから180番くらいのサンドペーパーで平らに仕上げる。

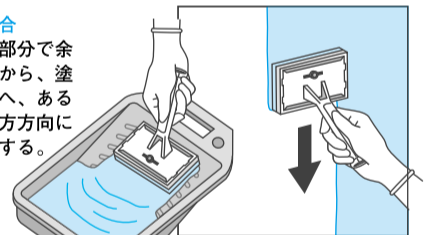


8 広い面を塗る

塗料を受け皿に移し、壁の表面が平らな場合はコテバケ、壁に凹凸がある場合はローラーバケを使って広い面を塗る。コテバケ、ローラーバケともつぎ柄をつけることができるので、壁の高い部分、天井も踏み台なしで楽に塗ることができる。

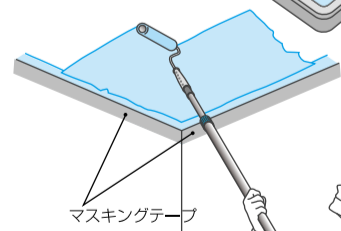
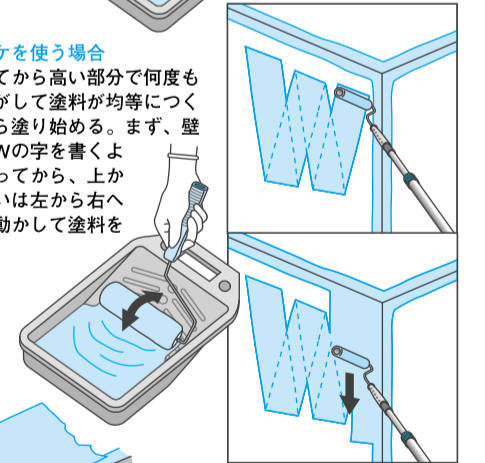
●コテバケを使う場合

塗料を含ませて高い部分で余分な塗料を削ぎ取ってから、塗り始める。上から下へ、あるいは左から右へと一方方向に動かして塗るようにする。



●ローラーバケを使う場合

塗料を含ませてから高い部分で何度もローラーを転がして塗料が均等につくようにしてから塗り始める。まず、壁にローラーでWの字を書くように塗料を配ってから、上から下へ、あるいは左から右へと一方方向に動かして塗料を塗り広げる。



※天井も塗る場合は、先に天井を塗ってから壁を塗るように。まず、壁との境目をスジカイバケで塗ってから天井を塗り、その後、壁を塗るようにする。

4 サンドペーパーをかける下塗り用シーラーを塗る

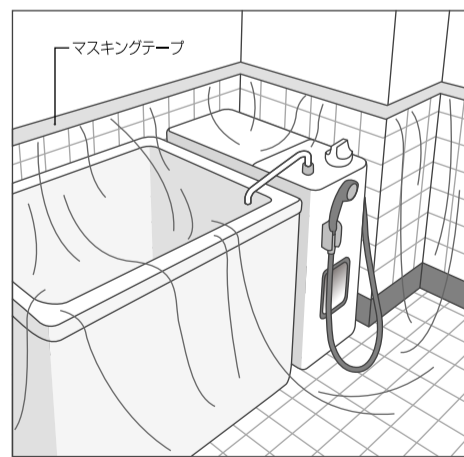
サンドペーパー（180番）を木片に巻き付け、壁全体に軽くかけて塗料のくいつきをよくする。

古い塗膜がはがれていたり、水を吸い込むような壁の場合は、下塗り用シーラーをコテバケかローラーバケを使って、壁全体に塗ったほうがよい。シーラーを塗った場合は、完全に乾いてから塗装を始めること。



5 マスキングをする

浴槽、風呂釜、水道蛇口、タイル面、換気扇、電灯など塗料を塗らない場所、塗料がついたら困る箇所をビニールシートとマスキングテープでガードする。天井を塗らない場合、あるいは天井を別の色で塗る場合は、天井側の境目にもマスキングテープを貼ること。



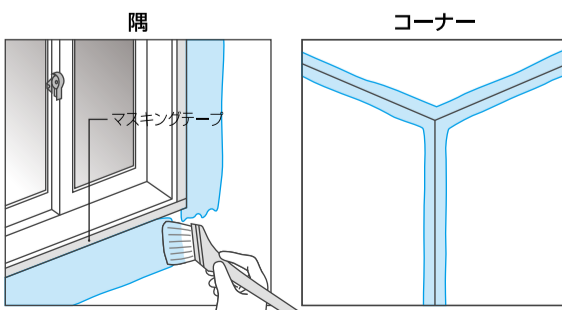
6 塗料を交ぜる

顔料が沈殿しているので、塗り始める前に割り箸などで底からよく交ぜる。



7 隅、コーナーをスジカイバケで塗る

窓枠やタイルとの境といった隅の部分やコーナー部分をスジカイバケで塗る。スジカイバケは缶の縁で余分な塗料を削ぎ取ってから塗り始めるとうよい。



9 乾燥させる

全体を塗り終えたらすぐにマスキングテープ、ビニールシートをはずして、そのまま約2時間、乾燥させる。

